

## 家庭教育委員会「父親部会・母親部会」の報告

日時：平成20年7月25日（金）14:00～16:00

場所：県教育会館 会議室1

講師：大石英史先生（山口大学 教育学部教授）

テーマ：－父親の役割、母親の役割－

### ◎最近の事件をみて

- ・最近の子どもは、衝動性が高く、耐性が弱くなっているように感じるが、その背景には、家庭での子どもを抱える力のやせ細りがある。親も仕事や生活に追われ、そのストレスは子どもに向けられることが多いため、子どもの「心の袋」が育ちにくい。親からの命令や否定の言葉で「心の袋」が溢れ出てしまい、他者に対して攻撃（キレる）という形で現れる。
- ・「心の袋」を深く大きく育てるには、子どもが自分の中の様々な感情を吐き出せることが大事。それを聞いてくれる人＝「大きな耳」が重要になる。また、聞いて待つことも大事で、親から子どもに投げかけておいて、あとは待つ。



### ◎友達親子

- ・親が子どもに負けるという関係も見られる。叱る時に叱れない。やってはいけないことを注意できない。（なぜいけないかの理由を伝えることも大事）  
〈例〉子どもが宿題ができずにイライラし、鉛筆を投げたりする。どうしたらいいかという相談。親の不安が先に立ち、子どもに対して、してはいけないことを伝えられない。
- ・日ごろからの関わりがないと、伝えることが難しい。子どもとぶつかり合う自信がない親。ぶつかることによって、関係は深まるもの。
- ・原始的な（味・触・嗅）感覚を豊かに使った子育ての勧め。



#### ◎父親の役割

- ・今一番必要なのは、母親のフォロー・サポートをすること。実質的な家事のフォローと、母親を思いやる気持ちと言葉が、母親の支えになる。子どもはそれを見て安心する。(今回参加されたお父さんたちは、食事作りや洗濯など家事に関わっておられる優秀な父親だった。)
- ・問題は、家に居ても子どもと関わってくれない父親。
- ・社会の厳しさを伝え、歯止めとなるのが父親の仕事ではあるが、父親の出番がそれだけだと子どもとのよい関係が作れない。(いろいろな形での父親の出番を作るのは母親の仕事。)

#### ◎フリートーク

- ・委員のみなさんから、先生に質問や自分の体験談を語る場になった。

#### ◎最後に

- ・「ありがとう」と「ごめんなさい」が自然にゆきかう家族になってほしい。

